

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	時任 康文
主な担当科目	指揮法Ⅱ①,指揮法Ⅱ②,博士研究指導,指揮
2025年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	教授としての音楽的、技術的なスキルを更に高め、音楽の面白さや難しさを指揮者という立場を通して学生に教授し共に研究する。一方的にならないように学生の立場を理解し、各個人の状況を考慮しつつ進めていきたいと思う。そして学生たちの考え方を上手く引き出しながら、技術面においても、音楽面においてもその質を高められるように導きたい。
2025年の教育に関 する自己評価	各授業やレッスンの学生と積極的に会話し、彼らの求めることを理解しながら導くことができたと思う。留学生に関して、日程や時間変更など上手く伝達できていなかったことがあった。今後はもっと丁寧な伝達を心掛け誤解のないように指導していかなければならない。
2025年のFD活動 に関する自己評価	積極的にFD活動に参加、発言できたと思う。また各先生方の多様な意見を聞くことが大変参考になった。それを私の教育現場に反映させることで私個人の対応力も増えたと思う。教授する探求心を深めるためにも本当に重要な活動であると感じた。
授業改善のために 取り入れた研修内容	各部会のFD研修内容として留学生への対応は、私の授業改善として大変勉強になった。またメンタルの不安定な学生の対応なども取り入れさせていただき、学生と上手く会話をしながら導くことができたのも大変良かったと思う。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画

教員コード:3361 教員名:時任康文

1)アンケート結果に対する所見

指揮法Ⅱ①も②もアンケートを提出してくれた学生はおおむね授業に関して上手くコミュニケーションが取れていると思う。記述に関してもウインドに入って良かったとの意見もありこの授業の意義が浸透できていると感じた。これに驕ることなく更に良い授業を目標とし進めていきたい。

大学院オペラに関しては学生からの厳しい指摘はもっともである。オペラでの日本人と留学生の問題は早急に解決策を考えたい。

2)要望への対応・改善方策

指揮法Ⅱに関しては毎年新しい学生が入ってくるので一人一人の問題点、良い点を見抜きウインドコースでのこの授業の必要性を理解して貰いたい。

大学院オペラに関しては早急にオペラに関わる先生にこの記述を伝え改善策を考えていきたい。

3)今後の課題

授業でアンケートの提出をお願いはしているものの、どうしても提出率が低いと感じる。このアンケートを学生はどのように感じているのかのアンケートを取るのはいかがでしょうか。教員側もできるだけこのアンケートの重要性をきちんと話し、提出率を上げていくことを課題としたい。

以 上